

「#(ハッシュタグ)」とは、SNS等で特定のテーマについて検索して一覧表示する機能のことです。大分県内の農林水産業の中から選りすぐった旬の話題を大分県拠点からお届けします。

みどりの食料システム戦略が策定されました！

「みどりの食料システム戦略」については、食料・農林水産業の生産力向上と持続性の両立をイノベーションで実現させるための新たな政策方針として、5月12日に決定しました。



- 本戦略では、2050年までに、
- ① 農林水産業のCO2 ゼロエミッション化の実現
 - ② 化学農薬の使用量をリスク換算で50%低減
 - ③ 化学肥料の使用量を30%低減
 - ④ 耕地面積に占める有機農業の取組面積を25%、100万haに拡大
 - ⑤ エリートツリー等を林業用苗木の9割以上に拡大
 - ⑥ ニホンウナギ、クロマグロ等の養殖において人工種苗比率100%の実現
 - ⑦ 2030年までに持続可能性に配慮した輸入原材料調達の実現等の意欲的な目標を掲げています。

本戦略は、これまでにない新たな政策方針であり、生産者、事業者、消費者それぞれの理解と協働の上で実現するものです。このため、

- ① 本戦略の考え方や方向性をあらゆる機会を捉えて発信
- ② 補助・投融资・税・制度等について、政策手法のグリーン化の具体化に向けた検討を行う
- ③ 既存の優れた技術の横展開、革新的な技術・生産体系の研究開発の推進など、戦略の具体化に向けて農林水産省を挙げて進めてまいります。

「みどりの食料システム戦略」については ⇒

みどり戦略



九州ブロック説明会を開催します！ (大分県拠点でも参加できます。)

令和3年8月4日(水)
13:30~16:00

当日はWEB会議で、九州農政局各県拠点を結んだサテライト方式で実施します。

内容は2部構成で、第1部では、戦略の概要説明及び農薬・肥料の低減や有機農業を
実践する生産者による講演を実施、第2部では、有識者と本省担当者とのパネルディス
カッションを実施します。



お問い合わせ、参加のご希望はお気軽に大分県拠点へ

オンライン勉強会も始まりました！（農水省HPでご確認を）



農林水産省では「持続可能な農業生産の取組拡大を考えるオンライン勉強会シリーズ」を6月から毎月1回開催しております。これまでの資料等もご覧になれますので是非アクセスしてください。

「持続可能な農業生産の取組拡大を考えるオンライン勉強会」は ⇒

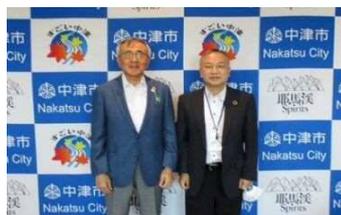
農林水産省 オンライン勉強会



みどり戦略に関して いろいろな皆様のご意見を伺っています。



中津市長との意見交換



令和3年7月6日、
奥塚中津市長と意見
交換を行いました。
みどりの食料シス
テム戦略について、

「若い人が担い手として有機農業に取り組んで
いけるような環境づくりができればよい」といっ
たご意見を伺いました。

※「世界気候エネルギー首長誓約」

持続可能なエネルギーの推進、温室効果ガスの国の目標以上の削減等、持続可能で強靱な地域づくりを目指し、パリ協定の目標の達成に地域から貢献しようとする自治体の首長による国際的な仕組み

宇佐市長との意見交換



令和3年7月6日、
是永宇佐市長と意見
交換を行いました。
みどりの食料シス
テム戦略について、

「私も世界首長誓約（※）に署名しているので、
率先して取り組ませてもらいたい」といったご意
見を伺いました。

生産者との意見交換

令和3年6月23日、国東市で国東半島宇佐地域世界農業遺産協議会の
会長でもあり、環境に優しい農林業を実践されている林浩昭氏と意見交換
を行いました。世界農業遺産の資源循環型システムや農村地域の展望等
についてお聞きしました。

また、CO2の削減等はどうやったら貢献できるか等、みどり戦略に沿
えるように農家なりに考えていく事が大事だとのご意見を伺いました。



第6回農政懇話会を開催しました！

大分県拠点では、「現場と農政を結ぶ」業務の一環として、マスコミ各社
への情報提供と現場意見の反映を目的に令和3年6月16日、「第6回農政
懇話会」を開催しました。県拠点から農林水産物・食品の輸出促進、みど
りの食料システム戦略、大分県拠点の独自取組等について情報提供を行った後、
意見交換を行いました。



農事組合法人との意見交換

大分県拠点では「現場と農政を結ぶ」ことを目的に生
産者・事業者との意見交換を実施し、ご意見やご要望
をお聞きしています。



令和3年6月2日、豊後大野市で大麦、大豆、かんしょ、
スイートコーンなどを生産し、自ら加工・販売も行ってい
る芦刈農産と意見交換を行いました。意見交換では大きく
売上げを伸ばしているかんしょ「はるか姫」（商標登録）
の青果、冷凍焼き芋などの輸出に関して意欲的な意見が聞
かれたほか、労働力確保等について意見が出されました。



いちご学校の皆様との意見交換



令和3年6月17日、杵築いちご学校の卒業生及び研修生と
意見交換を行いました。杵築市に移住し、新規就農された若
手生産者さんの就農のきっかけや現在の生産状況、今後の展
望等について意見を聞かせていただきました。



本紙掲載の記事は大分県拠点のHPでもご覧いただけます。↓

【発行元】九州農政局大分県拠点地方参事官室

【連絡先】〒870-0047 大分市中島西1-2-28 TEL 097-532-6131

大分県 地域農政

